(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3246887号
(U3246887)

(45)発行日　令和6年6月3日(2024.6.3)

(24)登録日　令和6年5月24日(2024.5.24)

(51)国際特許分類
Ａ４７Ｃ　27/00　(2006.01)

ＦＩ
Ａ４７Ｃ　27/00　Ｃ

評価書の請求　未請求　請求項の数　6　ＯＬ　（全7頁）

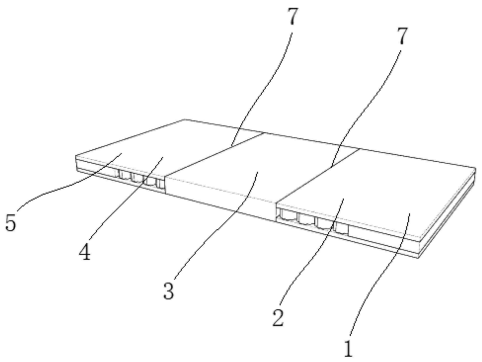
(21)出願番号　実願2024-767(U2024-767)
(22)出願日　令和6年3月14日(2024.3.14)
(31)優先権主張番号　202320911321.1
(32)優先日　令和5年4月21日(2023.4.21)
(33)優先権主張国・地域又は機関
中国(CN)

(73)実用新案権者　524098880
賽諾（浙江）聚▲安▼▲旨▼新材料有限公司
ＳＩＮＯＭＡＸ （ＺＨＥＪＩＡＮＧ） ＰＯＬＹＵＲＥＴＨＡＮＥ ＴＥＣＨＮＯＬＯＧＹ ＬＩＭＩＴＥＤ
中国浙江省嘉興市嘉善県魏塘街道南星路６８号
ＮＯ．６８ ＮＡＮＸＩＮＧ ＲＯＡＤ，ＷＥＩＴＡＮＧ ＴＯＷＮ，ＪＩＡＳＨＡＮ Ｊｉａｘｉｎｇ，Ｚｈｅｊｉａｎｇ ３１４１００，Ｃｈｉｎａ
(74)代理人　100146374
弁理士　有馬 百子
(72)考案者　陳 小華

最終頁に続く

(54)【考案の名称】　折り畳み式分割マットレス

(57)【要約】
【課題】マットレス本体上に人体の異なる部位を支持するための支持力の異なる第一の支持構造と第二の支持構造とを設置することにより、快適性を向上させることができる折り畳み式分割マットレスを提供する。
【解決手段】マットレス本体を含み、マットレス本体上には、頭部支持領域１と、背部支持領域２と、腰部支持領域３と、臀部支持領域４と、下腿部支持領域５とが設けられている。頭部支持領域１と下腿部支持領域５とは、それぞれマットレス本体の両端に設置され、背部支持領域２は、頭部支持領域１の内側に設置され、臀部支持領域４は、下腿部支持領域５の内側に設置され、腰部支持領域３は、マットレス本体の中間位置に設置され、腰部支持領域３の両端は、それぞれ折り畳み可能な構造を介して背部支持領域２及び臀部支持領域４と接続され、頭部支持領域１と、腰部支持領域３と、下腿部支持領域５とは、第一の支持構造を採用し、背部支持領域２と臀部支持領域４とは、第二の支持構造を採用する。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
折り畳み式分割マットレスであって、マットレス本体を含み、マットレス本体上には、頭部支持領域（１）と、背部支持領域（２）と、腰部支持領域（３）と、臀部支持領域（４）と、下腿部支持領域（５）とが設けられており、
前記頭部支持領域（１）と下腿部支持領域（５）とは、それぞれマットレス本体の両端に設置され、背部支持領域（２）は、頭部支持領域（１）の内側に設置され、臀部支持領域（４）は、下腿部支持領域（５）の内側に設置され、腰部支持領域（３）は、マットレス本体の中間位置に設置され、腰部支持領域（３）の両端は、それぞれ折り畳み可能な構造を介して背部支持領域（２）及び臀部支持領域（４）と接続され、
前記頭部支持領域（１）と、腰部支持領域（３）と、下腿部支持領域（５）とは、第一の支持構造を採用し、背部支持領域（２）と臀部支持領域（４）とは、第二の支持構造を採用する、ことを特徴とする折り畳み式分割マットレス。
【請求項２】
前記第一の支持構造は、ワンピース型スポンジである、ことを特徴とする請求項１に記載の折り畳み式分割マットレス。
【請求項３】
前記第二の支持構造は、若干の支持柱（８）、支持柱（８）の上端面に設置される上支持クッション（９）、及び支持柱（８）の下端面に設置される下支持クッション（１０）である、ことを特徴とする請求項１に記載の折り畳み式分割マットレス。
【請求項４】
前記腰部支持領域（３）の両端は、それぞれ縫合線（７）を介して背部支持領域（２）又は臀部支持領域（４）と接続され、且つ背部支持領域（２）と臀部支持領域（４）とは、縫合領域を介して折り畳まれる、ことを特徴とする請求項１に記載の折り畳み式分割マットレス。
【請求項５】
前記腰部支持領域（３）と背部支持領域（２）との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域（３）の頂部に位置し、
腰部支持領域（３）と臀部支持領域（４）との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域（３）の底部に位置する、ことを特徴とする請求項１に記載の折り畳み式分割マットレス。
【請求項６】
前記腰部支持領域（３）と背部支持領域（２）との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域（３）の底部に位置し、
腰部支持領域（３）と臀部支持領域（４）との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域（３）の頂部に位置する、ことを特徴とする請求項１に記載の折り畳み式分割マットレス。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、家庭用品分野に関し、特に折り畳み式分割マットレスに関する。
【背景技術】
【０００２】
人体の脊柱は、側面から見ると、生理的湾曲を有する曲線である。正常な生理的湾曲を保護し、人々の睡眠時の正常な生理活動を維持するために、寝る時にマットレスを採用する必要がある。
【０００３】
例えば、出願番号が２０２０２０３０２８７５．８である特許文献は、スプリングマットレスを開示し、それは、下クッション体と、スペーサと、上クッション体とを含み、スペーサは、下クッション体と上クッション体との間に設置され、下クッション体は、マッ

トレス枠とスプリング層とを含み、スプリング層は、マットレス枠内に設置され、スペーサは、マットレス枠の上方に密着して設置され、スプリング層は、複数列の独立したスプリング体からなり、スプリング体は、カバー体と、カバー体内に係止して設置されるスプリング部材とを含み、スプリング部材は、カバー体と一体成形して設置される。

【０００４】

人体の脊柱と背部の生理的湾曲を支持するための上記のマットレスには、以下の問題が存在する。

【０００５】

１）従来のマットレスは、統一された硬度を有するクッション体であり、人体がマットレス上に横たわる時、体の各部位のマットレスに対する力が異なり、統一された硬度を有するマットレスは、人体の快適性に対する要求を完全に満たすことができず、例えば柔らかいマットレスを選択すると、体の中部は、快適であると感じるが、人体の頭部及び足部に対する支持は、明らかに不足している一方、硬いマットレスを選択すると、人体の頭部及び足部の支持力を満たしているが、体の中部は、あまり柔らかくて快適ではないと感じる。

【０００６】

２）従来のマットレスは、一般的に内部に大量のスプリングを取り付けて、マットレスの弾性を保証するが、スプリング支持構造の端部は、マットレスを突き破りやすい。

【０００７】

３）体がマットレス上に横たわる時、体の部位によって受ける力が異なり、マットレスの一部の位置が凹みやすく、凹みのあるマットレス上で長期的に寝ると、体の不調を招きやすい。

【０００８】

そのため、上記の欠陥を克服するために、このような構造を改善する必要がある。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【０００９】

本考案の目的は、折り畳み式分割マットレスを提供することであり、マットレス本体上に人体の異なる部位を支持するための支持力の異なる第一の支持構造と第二の支持構造とを設置することにより、快適性を向上させる。

【課題を解決するための手段】

【００１０】

本考案の上記技術目的は、以下の技術案によって実現される。

【００１１】

折り畳み式分割マットレスであって、マットレス本体を含み、マットレス本体上には、頭部支持領域と、背部支持領域と、腰部支持領域と、臀部支持領域と、下腿部支持領域とが設けられており、

前記頭部支持領域と下腿部支持領域とは、それぞれマットレス本体の両端に設置され、背部支持領域は、頭部支持領域の内側に設置され、臀部支持領域は、下腿部支持領域の内側に設置され、腰部支持領域は、マットレス本体の中間位置に設置され、腰部支持領域の両端は、それぞれ折り畳み可能な構造を介して背部支持領域及び臀部支持領域と接続され、

前記頭部支持領域と、腰部支持領域と、下腿部支持領域とは、第一の支持構造を採用し、背部支持領域と臀部支持領域とは、第二の支持構造を採用する。

【００１２】

さらに、前記第一の支持構造は、ワンピース型スポンジである。

【００１３】

さらに、前記第二の支持構造は、若干の支持柱、支持柱の上端面に設置される上支持クッション、及び支持柱の下端面に設置される下支持クッションである。

【００１４】

さらに、前記腰部支持領域の両端は、それぞれ縫合線を介して背部支持領域又は臀部支持領域と接続され、且つ背部支持領域と臀部支持領域とは、縫合領域を介して折り畳まれる。

【００１５】

さらに、前記腰部支持領域と背部支持領域との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域の頂部に位置し、腰部支持領域と臀部支持領域との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域の底部に位置する。

【００１６】

さらに、前記腰部支持領域と背部支持領域との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域の底部に位置し、腰部支持領域と臀部支持領域との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域の頂部に位置する。

【考案の効果】

【００１７】

以上をまとめると、本考案は、以下の有益な効果を有する。

マットレス本体上に人体の異なる部位を支持するための支持力の異なる第一の支持構造と第二の支持構造とを設置することにより、快適性を向上させる。人体が横向きにして寝る時、背部及び臀部の第二の支持構造は、比較的柔らかいため、沈み込んだ後に首のためにより小さい空隙をもたらすことによって、横向きにして寝る人の首を保護することができるが、股関節の曲線が比較的大きい女性にとって、臀部における第二の支持構造は、女性が横向きにして寝る時の腰椎をよりよく保護する。製品全体は、異なる人々の異なる寝様に適応することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１８】

【図１】本考案に記載の折り畳み式分割マットレスの展開状態概略図である。

【図２】本考案に記載の折り畳み式分割マットレスの折り畳み状態概略図である。

【考案を実施するための形態】

【００１９】

本考案を実現する技術手段、創作の特徴、達成する目的と効果を分かりやすく理解するために、以下、図示と具体的な実施例を結び付けて、本考案をさらに記述する。

【００２０】

図１と図２に示すように、本考案による折り畳み式分割マットレスは、マットレス本体を含み、マットレス本体上には、頭部支持領域１と、背部支持領域２と、腰部支持領域３と、臀部支持領域４と、下腿部支持領域５とが設けられており、

前記頭部支持領域１と下腿部支持領域５とは、それぞれマットレス本体の両端に設置され、背部支持領域２は、頭部支持領域１の内側に設置され、臀部支持領域４は、下腿部支持領域５の内側に設置され、腰部支持領域３は、マットレス本体の中間位置に設置され、腰部支持領域３の両端は、それぞれ折り畳み可能な構造を介して背部支持領域２及び臀部支持領域４と接続され、

前記頭部支持領域１と、腰部支持領域３と、下腿部支持領域５とは、第一の支持構造を採用し、背部支持領域２と臀部支持領域４とは、第二の支持構造を採用する。

【００２１】

前記第一の支持構造は、ワンピース型スポンジである。

【００２２】

前記第二の支持構造は、若干の支持柱８、支持柱８の上端面に設置される上支持クッション９、及び支持柱８の下端面に設置される下支持クッション１０である。

【００２３】

前記腰部支持領域３の両端は、それぞれ縫合線７を介して背部支持領域２又は臀部支持領域４と接続され、且つ背部支持領域２と臀部支持領域４とは、縫合領域を介して折り畳まれる。

【００２４】

前記腰部支持領域３と背部支持領域２との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域３の頂部に位置し、腰部支持領域３と臀部支持領域４との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域３の底部に位置する。

【００２５】

又は

前記腰部支持領域３と背部支持領域２との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域３の底部に位置し、腰部支持領域３と臀部支持領域４との接続箇所の折り畳み可能な構造は、腰部支持領域３の頂部に位置する。

【００２６】

本考案の作動原理は、以下のとおりである。

【００２７】

本考案に記載の折り畳み式分割マットレスは、頭部支持領域１と、背部支持領域２と、腰部支持領域３と、臀部支持領域４と、下腿部支持領域５とに分けられる。

【００２８】

ここで、頭部支持領域１は、第一の支持構造のワンピース型スポンジを使用して、支持力を増やし、背部支持領域２は、第二の支持構造の支持柱８、上支持クッション９及び下支持クッション１０であり、それは、背部曲線を包み込むことができる。腰部支持領域３は、第一の支持構造のワンピース型スポンジを使用して、支持力を増やし、臀部支持領域４は、第二の支持構造の支持柱８、上支持クッション９及び下支持クッション１０であり、それは、臀部曲線を包み込むことができ、下腿部支持領域５は、第一の支持構造のワンピース型スポンジを使用して、支持力を増やす。

【００２９】

人体が横向きにして寝る時、背部及び臀部の第二の支持構造は、比較的柔らかいため、沈み込んだ後に首のためにより小さい空隙をもたらすことによって、横向きにして寝る人の首を保護することができるが、股関節の曲線が比較的大きい女性にとって、臀部における第二の支持構造は、女性が横向きにして寝る時の腰椎をよりよく保護する。

【００３０】

製品全体は、異なる人々の異なる寝様に適応することができる。

【００３１】

折り畳みが必要な場合、縫合線７を折り畳み線として、それぞれ腰部支持領域３の両側の背部支持領域２と臀部支持領域４とを腰部支持領域３の頂部又は底部に折り畳むことにより、スペース節約の目的を実現することができる。

【００３２】

本明細書では、用語である「上」、「下」、「前」、「後」、「左」、「右」、「頂」、「底」、「内」、「外」、「鉛直」、「水平」などにより指示される方位又は位置関係は、図面に基づいて示される方位又は位置関係であり、技術案の明確さ及び記述の便宜性を示すためのみであるため、本考案に対する制限として理解されることはできない。

【００３３】

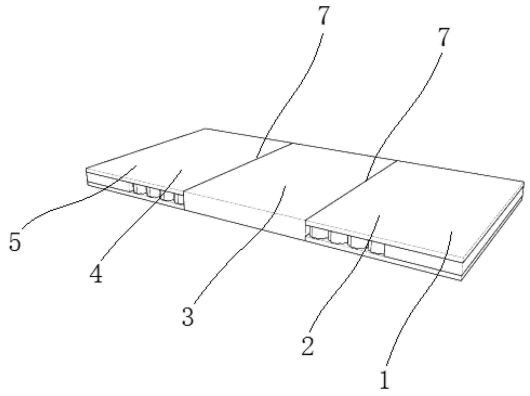
本明細書では、用語である「含む」、「包含」又はその他の任意の変形は、非排他的な「含む」を意図的にカバーするものであり、記載されたそれらの要素に加えて、明確に列挙されていない他の要素を含んでもよい。

【００３４】

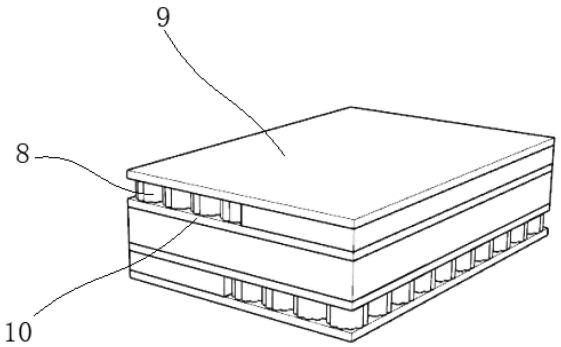
以上は、本考案の基本原理、主な特徴と本考案の利点を表示し、記述した。当業者は、本考案が上記実施例の制限を受けず、上記実施例と明細書に記述されたのは、本考案の原理を説明するにすぎず、本考案の精神と範囲を逸脱することなく、本考案には、様々な変化と改良が加えられ、これらの変化と改良は、保護を要求する本考案の範囲内に含まれる。本考案の保護を要求する範囲は、添付される特許請求の範囲及びその同等物によって定義される。

【図面】

【図１】



【図２】



フロントページの続き

中国浙江省嘉興市嘉善県魏塘街道南星路６８号
(72)考案者　程 運帆
中国浙江省嘉興市嘉善県魏塘街道南星路６８号
(72)考案者　王 世魁
中国浙江省嘉興市嘉善県魏塘街道南星路６８号
(72)考案者　馮 会良
中国浙江省嘉興市嘉善県魏塘街道南星路６８号